



産業道路の改良に就て

貴族院議員 今井 五介

文化の發達に伴つて交通機關が進歩し交通機關の進歩と共に道路改良といふ事が最も緊要なる問題となつて來るのであつて、道路の良否が産業の振興に、將又經濟の隆盛に至大なる影響のあることは今更喋々するまでもない所である。一國の道路の改良状態を見れば、以て其の國の文化の發達

程度を知ることが出来る、實に道路は文化のバロメータであること云ふも過言ではない、

自分は曩年歐米を視察したる際、彼地に於て到る處路面の鋪裝が能く行届いて居る狀況を目のあたり實見するに及んで翻つて當時我邦の道路の狀態を想ひ起して、餘りに其の相違の甚しきに一驚を喫したのである。斯の強き印象こそ全然道路問題に素人たる自分をして其の改良の必要を痛感せしむるに同時に、又以て聊か我邦道路界の爲に貢獻して見たいと決意せしむるに至つた動機であつたのである。

二

惟ふに我國從來の交通政策は、鐵道にのみ重きを置いて、鐵道の必要に極めて薄い地方までも徒に新線を敷設する事に急であつて、一面道路の改良を怠つた觀あることは、甚だ遺憾すべき點である。今や陸上の交通は世界を通じて自動車時代になりつゝある。歐米各國に於ても鐵道は自動車の普及發達の爲に、孰れも其の經營を脅かされて居る實況である。殊に我邦の如く、私設鐵道なきに至つては之を敷設しても、籠笠を着たる者でも乗らなければ乗客がない、或は又國庫の補助が無ければ經營が出来ないといふやうな鐵道までも、徒に之を敷設するよりも、寧ろ産業道路を改良して自動車を利用する方が、或は交通運輸の上に、或は産業開發の上に、最も策の得たるものであらうと思ふ。最近政府に於て漸く産業道路の改良計畫を立てられ、近く全國に互つて之が實現を見んことを至つたのは、我邦の現狀に鑑みて頗る適切なる事業であつて、一日も速く之が完成を企圖すべきであ

る。

三

自分は元來蠶絲業に最も深き關係を有する者であつて、道路に關しては殆んど門外漢であるが、前述の如く歐米の道路改良狀態に刺戟せられて、聊か我國の道路改良事業に微力を捧げんことを決意して、目下最も理想的なる道路材料の提供といふ事に苦心研究を重ねつゝある立場より、以下道路改良の實際問題に就て少しく卑見を述べたいと思ふ。

四

道路の改良を實施するに當つて最も考慮すべきことは、現在の運輸交通量は歲と共に更に増大するものであるから、隨つて改良道路の構造は最も耐久力を有し、又及的修繕費を要せざるものを選ぶことが要件でなければならぬ。折角巨費を投じて道路を改良しても、忽ち破壊して常に修理に逐はれ多大の修繕費を要するが如きは、大なる不經濟である。

近來我國に於て都市に在つては路面鋪裝が行はれつゝあるが、地方道路に至つては殆んど其の悉くが舊來の砂利道である。砂利道は今日の交通狀態に對しては、殆んど道路としての效用を完うし得ないものであるが、其の最も不利益なる點は寸時も修繕を怠ることが出來ない。砂利道は實に砂利喰ひ道路にあらずして金喰ひ道路である。

五

路面改良に就ても幾多の材料と種々なる工法があらうが、今日の我が國情に最も適切なるものは、所謂簡易舗装の普及であらう。目下の悪道路に對しては速に簡易舗装を施して、交通の要求に應じなければならぬ。

抑々道路の損壞する最大の原因は水分に在る。地下から水が湧出するか、然らざれば路上から雨水等が浸潤するか、これが道路を破壞するこの最も甚しきものである。固より路面の損傷は路上の交通の頻繁なる事にも因るが、道路そのものとしての根本的の損壞は、水分が最も之を誘發する。水分が全然無かつたならば、道路材料の如きは、極言すれば何でも宜いと言ひ得る。であるから道路の築造に當つては排水の點に最も注意を要するところは、専門家の異口同音に唱道する所である。

六

此意味に於て自分は我邦の道路に對する簡易舗装の方法として、ソリデチットを用ゆる膠石舗装を推奨したい。抑々ソリデチットは彼のセメント、コンクリートが路面舗装に用ひて雨水を浸透するに反して、不浸透性を有し、又アスファルトが不浸透性なるも強度に於て缺くる所あるに反して、衝擊に對する抵抗力強大であつて、龜裂を生ずる虞なく、實に此の兩者の長所を併せ有するものである。且其の工法は極めて簡易であつて、而も耐久力を有する等幾多の特徴がある。

唯從來費用の比較的嵩むところが其の缺點であつたが最近研究の結果所謂簡易鋪裝にして施行するに於ては、工費頗る低廉なるに至つたのである。尙ほ現在其の施行には花崗岩の碎石を要するのであるが、今後更に研究を重ねて、吾々の理想とする所の普通の砂利を用ひ得るに至つたならば蓋し我邦の道路改良事業に相當の貢獻を爲し得るであらうと確信するのである。